

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|-------------|-----|----------------|
| ○事業所名 | BRIDGE6ki | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和7年 11月 1日 | | ～ 令和7年 11月 30日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 59名 | (回答者数) 42名 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和7年 11月 1日 | | ～ 令和7年 11月 30日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 7名 | (回答者数) 6名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年 1月 9日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|--|
| 1 | お子様にとってBRIDGE6キンダーが安心の場になっていること | <ul style="list-style-type: none"> ・その日の活動やお子様の状況の申し送り、振り返りを的確に行っている。 ・お子様の発達段階やコンディションに合わせて柔軟なプログラムを設定している。 ・複数のフロアを活用しグループに分かれての活動や活動に合わせた環境を整えている。 ・クールダウンができる場がある。 ・医療ケア児対応のため看護師が配置されている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・環境の整備 ・視覚からの刺激軽減のため掲示物や物品の簡素化 ・職員配置を工夫し余裕を持ってお子様に対応できるようにする。 ・気になった点は迅速に保護者様と共有し保護者様にとっても安心できる事業所となるようにしていく。 |
| 2 | 多角的なアプローチ | <ul style="list-style-type: none"> ・太田ステージをはじめABLLSガイドラインを参考にしたアセスメントを実施している。 ・保育所等訪問支援と連携し生活の場に繋がる支援をしている。 ・個別の担当職員を固定せず様々な視点からお子様の状態を把握している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ABLLSガイドラインを参考にしたアセスメントの拡充 ・他事業所のOTSTとの連携を検討していく |
| 3 | より良い療育の質への意識 | <ul style="list-style-type: none"> ・入職より太田ステージや学習支援をはじめとする研修を実施・普段より職員間で相談しやすく高めやすい関係を築いている。 ・ヒヤリハットをそのままにせず必ず検討・対策をあげる。 ・申し送り・振り返りの時間では課題の内容のみではなくお子様に応じたねらい・注意点・結果・考察・改善へと繋げている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・中堅職員向けの社内研修を検討、継続したスキルアップサポート制度の構築を目指し、より質の高い療育の提供をしていく。 ・可能な限り外部研修に参加する。 ・個々の職員が持っているスキルや情報を共有し高めあっていく。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--|---|
| 1 | 保護者同士が交流できる場がない | <ul style="list-style-type: none"> ・保育所利用の方が多く平日イベント開催は参加される方が限られる。 ・土祝は通常療育を希望される方もいる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・BRIDGE全体での保護者交流イベント実施検討 |
| 2 | 非常時等の対応について保護者様への周知 | <ul style="list-style-type: none"> ・契約時に説明はしているが実際に行っている活動の共有がされていない。 ・視覚優位のお子様が多いため掲示物を極力減らしていることもあり保護者様が目に付く場所に掲示できていない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・定期的な避難訓練の実施をHUGやリズムでお知らせする。 ・契約時にマニュアルのファイルを実際に閲覧していただく |
| 3 | 活動内容の発信 | <ul style="list-style-type: none"> ・リズムだけでは活動の内容を伝えきれていない。 ・活動の見学ができる事が周知されていない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・HUGを活用した活動内容の発信を検討していく。 ・活動の見学について契約時や面談時にお伝えする。 ・職員の負担等を考慮し日々の療育に支障のない方法の検討 ・リズム記入内容の検討・改善 |